
小野葉のアニラジ

小野葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小野葉のアニラジ

【Nコード】

N2412I

【作者名】

小野葉

【あらすじ】

小野葉と、週で変わるアニメキャラの司会者とアニメキャラのメインゲストさんが対談しちゃいますっ！！
質問はバッチシ受け付けます

その質問は、次のコーナーで、バッチシ載ります。

よろしく願いしまーす！！

第一回目 ゲストは雲雀！！司会者は綱吉！！！！（前書き）

腐女子・腐男子関連の質問も、もしかしたらあります。

第一回目 ゲストは雲雀！！司会者は綱吉！！！！

さあ、今日から始めました！！

『小野葉のマンガ・アニメキャラのラジオ風に対談しちゃおう！！コーナー』

略して

『小野葉のアニラジ』
です！！

毎回、メインゲストさんと週ゲストさんが選ばれますが、今回のゲストさんはー。

え？

メインゲストは分かるけど、週ゲストって何だって？

ですか？？

週ゲストというのは、その週の間だけ、小野葉と一緒に司会者をやってくださるゲストさんの事です。

では改めて、いってみましょう！！

~~~~~

『今回の週ゲストは、だあれ？』

今からいくつかのヒントを出していくので、誰が週ゲストかを当ててくださいね？

では、いきます！！

週ゲスト、この人だあれ？

ヒント

1．頭がライオンヘアーです。

2・週ゲストさんの印象をある人に聞いてみました。  
Rさん↓「アイツは本当にどうしようもないやつだぞ。あれで本当に。。。。のボスが務まるのか…。ま、オレがそうなるように鍛えあげるんだけどな」  
だ、そうです。

大ヒント

3・マフィアの。。。。十代目です。

これで分かりましたよね？  
では正解にいつてみましょう。

今回の週ゲストはー…。

ボンゴレ十代目の沢田 綱吉君でーす！！  
『家庭教師ヒットマンリボーン』からおこしいただきました。

ツナ「よ、よろしくお願いします」

小野葉「よろしく」

~~~~~

小野葉「では次に、メインゲストさんの発表に移りたいと思います
！！今回のメインゲストはー…」

ツナ「ゲストは…？」

小野葉「メインゲストは、日々並盛の平和を守る、雲雀 恭也さん
におこしいいただきましたー」

ツナ「えっ！？ひ、雲雀さんですか！！！？」

小野葉「はい、雲雀さんです。では、雲雀さんの登場です。どうぞ
ー！！」

霧の中から雲雀登場！！

恭也「何なの、こっ」

小野葉「『小野葉のアニラジ』でース♪」

恭也「僕を挑発してるの？」

小野葉「してるかもしれせん」

ツナ「ちょ、ま、2人共っ！！！！」

恭也「……噛み殺す」

雲雀に追われ、逃げ回る沢田と小野葉。

小野葉「え〜っと、走りながらルーレットスタートといきたいと思っています！！」

ツナ「…分かりました」

小野葉「ルーレットスタート！！」

ガチガチとスタッフがルーレットを回し始める。

小野葉「ではっ！！ゲストの雲雀さん、ストップをどうぞ！！」

恭也「噛み殺す」

小野葉「会話になってませんね…。では綱吉君っ！！」

ツナ「ストップ！！！！」

ギーッと音が鳴り、ルーレットが止まる。

小野葉「でましたっ！！次回のメインゲストは…」

ツナ「リボーンさんに決定です…ってリボーンかよっ…！」

小野葉「というわけで、次回のゲストはリボーンさんですっ！！皆さんからの質問をいただければ、次回のこの次回、リボーンさんに質問したいと思いますっ！！どんな変な質問でもオーケーです！！もちろん腐女子関係もバツチこい！！です。感想から、質問を載せてください！！では、私が生きてたら、また次回！！」

ツナ「なんでオレまで…」

小野葉「では、また次回のこの次回までサヨナラ！！最後は家庭教師ヒットマンリボーンの綱吉君のセリフでお別れです」

ツナ・小野葉「死んでも死にきれねえ！！」

大事なお知らせです。

このコーナーは、皆さんからの質問で成り立っています。なので、皆さんからの質問があれば毎日更新できますが、質問がない場合は、更新日が何時になるかわかりません。

悪い時は、第1回そのまま廃止というのもありえます。

私の方も友人等からの質問を必死にかき集めたいと思いますので、皆さんもぜひご協力ください。

小野葉。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2412i/>

小野葉のアニラジ

2010年10月9日04時07分発行